

## 亀山学区自主防災会について



亀山地区社会福祉協議会

副会長 濱田昭法

(亀山学区自主防災会連合会 会長)

近年の温暖化による気象変動は毎年のように大きな自然災害を地球規模で襲い大きな災害をもたらしています。亀山学区は平成11年の6・29豪雨災害で死亡災害を出した教訓を受け自主防災組織を各自治会・町内会に発足させました。しかし、多くの大切な命も奪っている現状があります。平成26年の8・20広島土砂災害も忘れることができません。

以後、当地域は大きな自然災害に遭遇しておりませんが、今年8月の大雨災害では学区内で裏山法面崩落、流失した土砂が民家の近くまで達しました。他にも災害が多数発生しました。



(学区内の裏山法面崩落現場)

いつ起こるか分からない災害に備えて常に防災意識を持っておきたいものです。

こうした中で、見えてきたものとして、「日

ごろからの地域のつながり」と、「声掛け」が災害の軽減につながったといわれております。

亀山学区自主防災連合会は地域の皆さんが安心して安全に生活していただける災害に強い地域づくりを願って活動しています。

次に、活動の一端を述べてみたいと思います。

### ○ 避難所の開設・閉所、運営の支援

亀山学区の避難所は「地震は亀山小学校」「土砂災害は亀山中学校」となっています。

### ○ 防災訓練

- ・防災訓練の主なねらいは、安全な避難経路の確保。
- ・地域、学校、諸団体が一体となった避難訓練と避難体制の確立。

### ○ 避難場所運営マニュアルに基づいて実践的訓練

### ○ 活動の情報交換

その他、各单位自治会・町内会ごとに会長を中心とした自主防災会がおかれております。日頃から災害時に安全に行動がとれるよう各地域の自治会・町内会の危険箇所・安全な避難経路等定めた防災マップを策定し、全家庭にも配布されています。このマップをいつも見えるところに掲示して、更には、自分の所には災害情報がどこから来て、次には、どこに情報を伝達するかを日頃から訓練しておく必要があります。

過去の災害からの情報によれば、急激に雨量が増して、指定避難場所に行けない場合には、垂直避難(山側から離れた2階に避難)などの事を日頃から考え、安全に行動できるよう、家族全員で確認しておく必要があります。

亀山学区自主防災会は、みなさんの大切な「命」を守る願いのもとに活動して参ります。

これからもご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

# 白寿、米寿 お喜び申し上げます

白寿2名、米寿45名。皆様にお祝いを贈りました。

## 白寿 (大正11年生まれ)

山本	スエコ	亀山6丁目	中大毛寺
中高下	久仁治	亀山4丁目	下大毛寺

## 米寿 (昭和8年生まれ)

カ石	菊江	可部町勝木	上行森
山本	稔	可部町勝木	上行森
木川	澄子	可部町勝木	上行森
野村	美恵子	可部町勝木	下行森
中出	道夫	可部町勝木	勝木ハイッ
太刀掛	満雄	可部町勝木	勝木ハイッ
川本	敏美	可部町勝木	グリーンライフ
岡本	寛作	亀山9丁目	勝木
城西	正盛	亀山8丁目	勝木
後藤	勲	亀山8丁目	勝木
上野	静夫	亀山西2丁目	勝木台
中村	圭子	亀山西1丁目	勝木台
中村	アイ子	亀山西1丁目	勝木台
小田	正彦	亀山7丁目	上大毛寺
戸田	義治	亀山7丁目	上大毛寺
梶原	弘通	亀山7丁目	上大毛寺
小早川	須直	亀山8丁目	上大毛寺
久保	スマコ	亀山6丁目	上大毛寺
渡邊	キミ	亀山6丁目	上大毛寺
巨海	一夫	亀山6丁目	上大毛寺

山口	守	亀山6丁目	上大毛寺
國本	五郎	亀山4丁目	中大毛寺
東	義夫	亀山5丁目	中大毛寺
宮本	利久男	亀山5丁目	中大毛寺
井町	貴美枝	亀山6丁目	中大毛寺
佐々木	照江	亀山6丁目	中大毛寺
高杉	ミヨ子	亀山4丁目	下大毛寺
林	利治	亀山4丁目	下大毛寺
野上	英幸	亀山4丁目	下大毛寺
蓮花	澄子	亀山5丁目	船山
大下	タヅ子	亀山5丁目	船山
山口	テルコ	亀山5丁目	船山
平野	芳子	亀山5丁目	船山
木津	スミ子	亀山5丁目	船山
菊本	マスコ	亀山5丁目	船山
山崎	峯子	亀山6丁目	船山
鴨田	孔男	亀山5丁目	船山
川崎	清司	亀山2丁目	四日市
榊本	浜子	亀山2丁目	四日市
篠田	弘子	亀山2丁目	四日市
内野	恭彦	亀山2丁目	四日市
高橋	シズエ	亀山2丁目	四日市
桐原	治恵	亀山3丁目	四日市
丸町	ヒデ子	亀山3丁目	四日市
竹本	幸二	亀山3丁目	四日市

(敬称略 順不同)

### 亀山地区内人口の動態

総人口	16,078人
年少人口(割合)【0～14歳】	2,031人(12.6%)
生産年齢人口(割合)【15～64歳】	8,895人(55.4%)
老年人口(割合)【65歳以上】	5,152人(32.0%)
後期高齢者人口(割合)【75歳以上】	2,677人(16.7%)
世帯数*住民基本台帳による世帯数(外国人を含む)	7,345世帯

\*学区の人口及び世帯数は、町丁目によっては、複数の学区にまたがるため、厳密な数字ではありません。(令和3年6月末現在)



## 亀山地区社協『社協かめやま分室』は、 こんなところ《寄って・来てみんさい》

亀山地区社会福祉協議会  
会長 大 畠 正 彦

亀山地区社協は、従来からの亀山7丁目本部と、昨年11月から亀山3丁目フレスタ可部店西隣り「古民家まちづくり四日市役場」内に『社協かめやま分室』を開所し、地域のみなさんが気軽に立ち寄り、お役に立てる「相談所」を開設しました。

開設日・相談日	
『亀山3丁目社協かめやま分室』	
毎週	月曜日・水曜日 10時から14時
『亀山7丁目本部』	
毎週	火曜日・木曜日 10時から12時

### ◎寄って・来てみんさい【気軽な相談所】

「相談」というと「こんな話をしても大丈夫だろうか」、「たいしたことはないと思われんだろうか」と、つい、身構えてしまいます。

四日市役場には「認知症カフェ」子どもの遊び場、子育て中の親の交流の場「よつばクラブ」、所属のない人の居場所づくり「いどぼた」などがあります。喫茶テ・ミールでお茶もできます。買物や通院の「ついで」の立ち話。藤の木陰にあるベンチで世間話もできるそんな相談所です。

### ◎寄って・来てみんさい【グチや弱音をはくのが大切】

高齢者や障害のある人にはそれぞれ専門の相談機関があります。福祉センターには、手続きや相談のための窓口があります。困り事、介護や福祉サービスの申請など当面の課題を解決するために訪ねますが、必要な話をするだけで弱音やグチは話にくいものです。

困り事や心配事に立ち向かうには、むしろグチや弱音を吐くことで、的確に対処できるのです。相談するかどうかを迷っている時に背中を押してもらい、大丈夫なんだと言ってもらえる安心感であったり、普段の会話から教えてもらうことも多々あります。

相談所での話は決して他に漏らすことはありません。匿名の電話で、聞いて欲しいと長い話をされる方もいらっしゃいます。

### ◎寄って・来てみんさい【こんな相談もあります】

離れたところで暮らす一人暮らしのお兄さんがケガをしました。病院の入退院、介護保険、いろんなことが次々に起こってきました。これをきっかけに相談が始まりました。ケアマネさんから呼び出しがあつて話を聞かされても「どういうことか、ようわからん、ちょっと教えてほしい」というご相談です。この相談をいただいた方のご了解をいただき、誰のことかわからないように少し話を変えてご紹介します。

介護保険は、仕組みが複雑でケアマネさんからは聞きなれない言葉がたくさん出てきます。その場では、わかったような気がしても、後でどうであったんかいな、ということも度々あります。



ケアマネさんに詳しく聞きたいが忙しそうで何を聞いていいのかもわからん、といった嘆きです。

離れて暮らす兄への長年のグチも、つい口をついて出てしまいます。どれだけ預貯金があるのか、必要な書類がどこにあるのか、家の中がどうなっているのか、詳しいことがよくわからないことも、不安や心配のタネになっていました。

こうした気持ちを受けとめ、わかりにくい介護保険の用語を一緒にひもといていきました。少しでも持ち合わせている知識でケアマネさんの話を解説し、モヤモヤした思いを言葉にしてもらったら、頭が整理され心もときほぐされ、次々起こるお兄さんの出来事にも的確に対処していられました。また、その後も度々ちょくちょく来られ、とてもうまく相談所を使っておられます。

### ◎寄って・来てみんさい【相談所の役割】

これまでもいろんなご相談をいただいています。老後の不安、離れて暮らす孫の悩み、通院

をどうしたらいいか心配なこと、新型コロナワクチンのこと、認知症のことなどなどです。ボランティアをしたいといった話も伺っています。

専門的なことや手続きなどが必要なときには、適切な相談先を紹介します。

相談所の役割は、専門的な対応ではなく必要な機関や窓口を紹介しつなぐこと、そして何よりも、その方の気持ちを受けとめ心配事に対応していただけるよう少し背中を押し勇気づけ、応援のエールを送ることです。

認知症の奥様を長い間、看取られたある男性のお話を伺ったことがあります。その方には相談できる人、常日頃グチを気軽に聞いてくれる人があったので、長い介護が続けられたと話されていました。グチや弱音はマイナスではなく、物事に対処していくために必要なのです。

「人の世話になりたくない」という気概がみんなありますが、話してみたら、この悩みは自分だけではなかった、誰にでもあり得ることだと気づき気持ちが楽になります。

他人に頼ること、弱みをみせることは悪いことではありません。「助けて」と誰にも言えずに事件に至った不幸な出来事が、この地域にも起きました。誰も地域で孤立しないように、「一人ではないんですよ」という地域づくりのための相談所でもあります。

#### ◎寄って・来てみんな【これからは】

介護にあたっておられる方々の集い、特に男性介護者の集いなど、同じ事情にある当事者の語り合いが必要であると、さまざまな取り組みで提唱されています。こうした語らいの集い、交流の場をつくっていける相談所にしたいと考えています。

いま現に介護や子育てに取り組んでいる方々、病気や障害などさまざまな事情にある人々の集いや語らいの場があることは、これから同じ事情に置かれるであろう私たちみんなの力になります。ご相談をしていただくことが、私たちみんなの知恵となり、地域の力になります。

そのために地区社協は活動しております。み

なさんのお力をお借りしたいと考えております。

**合同相談会** 相談者と「区保健センター職員」「亀山地域包括支援センター」「地区社協相談員」

## 400ml献血にご協力を!



亀山学区献血推進協会は9月25日(土)アルゾ可部店で献血を実施しました。

過去5年は受付総数70名から80余名でした。今年は受付総数111名、採血者数103名、8名の方が比重不足などで採血できませんでした。採血合計は41,200mlです。

あなたの「献血」が患者さんの「いのち」を救います

皆様ご協力有り難うございました。



(撮影・吉村昭彦)

## 地域福祉事業にご寄付

亀山社協に令和3年6月1日から9月30日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。

#### ◎香典返し

船山 浅枝裕治様(母・泉様)

船山 匿名希望様

綾西 佐々木義則様(長男・英雄様)

中大毛寺 玖田裕治様(母・葉子様)

#### お願い

香典、お見舞い、お祝いのお返し等を亀山地区社協へご寄付の程お願い申し上げます。

窓口は自治会長、町内会長、民生委員、社協役員です。

福祉関係、お困りごと等の相談は

「社協かめやま7丁目本部事務所」(亀山7丁目19-12)(火・木10時~12時)☎815-4178

「社協かめやま分室」(亀山3丁目14-20 フレスト可部西隣 まちづくり四日市役場内)(月・水10時~14時)☎815-8858

へ連絡ください。祝日は休みです。